

Breaking News

第7期生 伊藤いぶきさん(派遣国:アメリカ 平成23年出発)から近況報告をいただきました。昨年就職し社会人としての大きな一歩を踏み出しました。

■旭陵留学が今の自分にどう生きているのか

旭陵留学に参加できたことで、語学学習はもちろんのこと、多様な考え方を学び、自分に自信を持つことにつながったと思っています。人見知りで静かだった私が、はじめての海外で、言葉もバックグラウンドも違う、知らない人ばかりの環境で、現地の人と10ヶ月過ごした、ということは私にとって大きな自信になりました。社会人になり、学生時代とは違って、年齢も考え方も異なる人が集まる環境でも前向きに仕事に取り組むことができるのは、留学で得た多様な考えを受け入れる力が生きていると思います。

■ANAの客室乗務員として勤務をスタートしました！

大学を卒業して、ANAの客室乗務員として働いています。8月に入社し、乗務を始めてから4ヶ月ほどが経ちました。客室乗務員の仕事を長く続けていらっしゃる先輩方や、お客様のお話を聞いて毎日たくさんのことを学ばせていただいています。客室乗務員の仕事に興味を持ったきっかけは、大学時代のアルバイトの経験を通して、お客様の喜ぶ顔を直接見ることができる接客の仕事をしたかったこと、その中でもよりたくさんバックグラウンドを持った方々と出会うことのできる仕事をしてみたいと思ったことです。



毎日のフライトの中で、日本語や英語以外の言語で話される方や手話や筆談を使う方も多くいらっしゃいます。そのようなとき、上手くコミュニケーションができないと思うのではなくて相手の文化や背景を考え、その人の表情や様子を見てなにができるのか考えるようにしています。上手くいくことばかりではありませんが、実際に喜んでもらえたときはお客様の表情を見て伝わりますし、喜んでくださる姿を見て私も達成感を感じて仕事のモチベーションにつながっていると思います。そのように相手の背景を考える習慣は、アメリカに行き、様々な文化や習慣を肌で感じられる環境で生活できたことで身に付いたと感じています。

高校生の時に家を離れて、一人で海外に行き生活することや休学をして一年下の学年に入ることなど不安を抱えて出発したことも覚えています。留学の1年間は私にとって自分を変えてくれるような本当に大切な時間になりました。貴重な経験をさせていただいたことにとっても感謝しています。ありがとうございました。

■将来の展望

旭陵留学に参加して、高校生のときに聞いていた「グローバル」という言葉の意味が理解できるようになったと思っています。ずっと憧れていた海外に実際に行ってみたことで、違う文化の良さがわかったことはもちろん、自分が今まで育ててきた日本や中津川の良さに改めて気づくことができました。これから日本全国や海外に行く機会が多いですが、様々な文化を吸収し、グローバルな考えを身につけ、何かの形で、地域に貢献していきたいと思っています。

フィリピンでの海外研修

